

12 月 17 日低気圧に係る根室港及び周辺地域の高潮被害の調査結果（速報）

平成 26 年 12 月 17 日に根室港（根室港区）及び周辺地域において発生した高潮被害の調査結果は以下の通りです。なお、本資料は速報のため、記載内容は今後修正されることがあります。

1. 気象等の概況

平成 26 年 12 月 17 日ごろ低気圧が北海道東部を通過し、根室市付近では最低気圧 952 hPa¹⁾、最大風速 26.1 m/s（12 月としては観測史上最大）²⁾を記録しました。また、潮位計で観測された偏差（天文潮位からのずれ）は最大で約 1.5 m となり³⁾、市街地まで達する高潮が発生し、避難勧告が沿岸 13 地区の 730 世帯、1,594 人に出されました⁴⁾。

1) 気象庁：アメダスデータ，根室，毎正時の値のうち最低値．2) 気象庁：日最大風速一覧表より．10 分間の平均風速．統計期間は 1890 年～現在．3) ナウファスによる観測値，4) 根室市資料，

2. 調査結果

・根室市では琴平町～本町の一带，弥生町・梅ヶ枝町・緑町の一带，西浜町，穂香地区等において高潮による浸水が発生し、内陸方向に最大で約 300 m まで達しました。主要地点の痕跡高さは以下の通りです（暫定値）：

- | | |
|---------------------|------------------|
| ・琴平町 1 丁目（港湾合同庁舎付近） | T.P. +2.3 m（遡上高） |
| ・海岸町 2 丁目（根室漁協付近） | T.P. +2.5 m（浸水高） |
| ・本町 4 丁目（水産加工業敷地） | T.P. +2.5 m（遡上高） |
| ・弥生町 1 丁目（寿司店） | T.P. +1.9 m（浸水高） |
| ・西浜町 7 丁目（水産加工業敷地） | T.P. +2.2 m（ 〃 ） |

・被害は、民家・工場の床上浸水被害，車両の被害，港湾上屋の扉の破損，海岸保全施設（護岸）陸側での土砂の散乱，船舶の損傷・漂流，漁具の散乱等が発生していました。

・浸水経路は、基本的には、海面が上昇して岸壁等を越えたことにより浸水が生じていました。ただし、一部においては、海岸の施設の越波，小規模な排水溝からの逆流も生じていました。

・高潮の発生メカニズムについては、今後詳細に解析を行う必要がありますが、発達した低気圧が北海道東部に比較的長時間のあいだ作用したこと，北側が国後島に，南側が根室半島・歯舞諸島・色丹島に囲まれた南西から北東方向に伸びる比較的細長い水域の付け根に根室市が位置しているという地形的な影響等が関連している可能性があります。

3. 調査団

国土技術政策総合研究所沿岸海洋・防災研究部 主任研究官 熊谷兼太郎 くまがいけんたろう
港湾空港技術研究所海洋情報・津波研究領域海象情報研究チーム 研究官 関克己 せきかつみ
土木研究所寒地土木研究所寒冷沿岸域チーム 上席研究員 山本泰司 やまもとやすじ
土木研究所寒地土木研究所寒冷沿岸域チーム 研究員 酒井和彦 さかいかずひこ
北海道開発局釧路開発建設部根室港湾事務所 所長 柿崎永己 かきざきえいき

4. 連絡先（代表）

国土技術政策総合研究所沿岸海洋・防災研究部 主任研究官 熊谷兼太郎
〒239-0826 神奈川県横須賀市長瀬 3-1-1
TEL. 046-844-5024, FAX. 046-844-5068, E-mail kumagai-k27n@mlit.go.jp



図ー1 浸水が発生した地区



図ー2 浸水が発生した地区(「弥生町・梅ヶ枝町・緑町の一带」の拡大図)

※根室市資料を基に作成。浸水の最大到達位置を線で示す。



写真－１ 市街地の浸水痕跡の例
(弥生町 1 丁目)



写真－２ 浸水高さの測定状況
(弥生町 1 丁目)



写真－３ 街路を閉塞した漂流船舶
(弥生町 1 丁目)



写真－４ 港湾上屋の扉の破損
(海岸町 1 丁目)



写真－５ 海岸保全施設（護岸）陸側での土砂の散乱
(岬町地区海岸)